

これらの地層は、第四紀沖積世のたい積層で、④層はレキの形から川原のたい積物である段丘性たい積層です。

また、⑩層は角レキを多く含んだ扇状性のたい積層であろうと思われます。

2、川原のようすと流水のはたらき

(1) 調べる場所

学校の南側の平地を流れる川

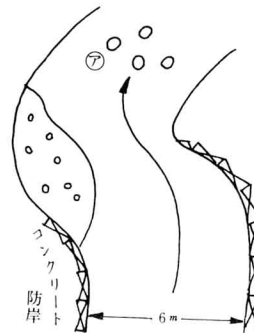
(2) 土手の上から川の流れ、川原のようす、川床や川岸のようすなどを観察する。



① 足もとに注意し、水の流れ、川原、川岸の防岸工事の施された所、川床に見られる大きなレキなど気付いたことを書き入れる。

② 流れがS字型に曲がっているが、レキがつもっている川原は、流れの曲がっている内側にできているか、外側にできているか。

③ 川床に大きな50cmを越えるレキがゴロゴロしている所が観察されるが、水の流れはどうなっているか。



(3) 川原に下りて、流水のはたらきを調べる。

① 川原の近くと、対岸の近くとで、水の流れはどうか、木片を流して速さを比べてみる。

② 川原から対岸に進むにつれ、深さはどう変わるか調べてみる。

③ 早瀬となって流れの急な⑦附近で、水中のぞき箱で、川底のようすを観察する。川底にそって砂が下流に流されているようすが観察される。

なぜ、⑦附近の川底には大きなレキがゴロゴロしており、小さいレキがないのだろうか。